

## 宮城県復興まちづくり通信

Vol.13

平成26年3月発行

宮城県土木部復興まちづくり推進室



## トピック

## 1. 復興交付金 交付可能額通知(第8回目)について

平成26年3月7日、復興庁から復興交付金に係る第8回目の交付可能額が通知されました。

復興交付金の県内沿岸部の各市町への配分額は、約1,447億円(国費ベース)であり、災害公営住宅整備事業、防災集団移転促進事業、土地区画整理事業のほか、災害危険区域の産業用地造成に係る計画策定費なども配分され、さらに平成27年度事業費の前倒し配分があったことにより、申請額の143%の配分となりました。

(単位:億円)

市町名	第7回までの交付可能額計		第8回交付可能額		合計		備考
	事業費	国費	事業費	国費	事業費	国費	
気仙沼市	1,832.5	1,485.7	466.3	392.3	2,298.8	1,878.0	沿岸部 (15市町)
南三陸町	952.3	777.1	24.2	20.6	976.6	797.8	
石巻市	2,547.1	2,075.4	360.5	299.4	2,907.7	2,374.8	
女川町	908.4	721.2	67.6	54.3	976.0	775.5	
東松島市	1,225.8	992.2	10.9	8.7	1,236.7	1,000.9	
松島町	126.7	98.7	33.7	25.4	160.4	124.1	
利府町	55.6	43.0	3.0	2.3	58.5	45.2	
塩竈市	401.4	314.6	26.8	22.2	428.2	336.8	
七ヶ浜町	343.0	280.9	15.8	11.6	358.8	292.5	
多賀城市	182.7	148.6	81.0	69.2	263.6	217.8	
仙台市	1,613.7	1,338.6	297.0	259.5	1,910.7	1,598.0	
名取市	332.0	262.0	259.1	214.1	591.1	476.1	
岩沼市	628.0	501.3	72.1	54.1	700.1	555.4	
亘理町	705.2	562.3	1.3	1.1	706.5	563.4	
山元町	755.6	604.3	16.1	12.3	771.7	616.5	
計	12,610.0	10,205.9	1,735.2	1,446.9	14,345.2	11,652.8	

※端数処理により合計と一致しない場合があります。

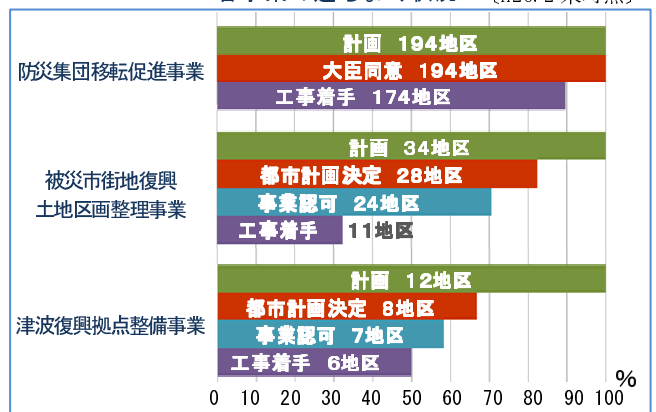
## 2. 復興まちづくり事業の進ちょく状況について

防災集団移転促進事業については、計画地区数194地区の全地区において事業計画の大臣同意を得ており、工事着手は174地区(約90%)、住宅等建築可能地区は9地区(約5%)となっています。

被災市街地復興土地区画整理事業については、計画地区数34地区のうち、28地区(約82%)で都市計画決定がなされ、事業認可は24地区(約71%)、工事着手は11地区(約32%)となっています。

津波復興拠点整備事業については、計画地区数12地区のうち、8地区(約67%)で都市計画決定がなされ、事業認可地区数は7地区(約58%)、工事着手は6地区(約50%)となっています。

各事業の進ちょく状況 [H26.2末時点]



# ◇ 平成25年度 下半期の復興まちづくりのあゆみ

東日本大震災からの復旧・復興に当たり、全国の皆さまからの温かい御支援をいただき、県内各地において土地区画整理事業、防災集団移転促進事業など復興まちづくり事業の槌音が響くようになりました。宮城県の復興10か年計画の復旧期の最終年度である平成25年度の下半期における県や各市町の取り組みや進ちょくした復興まちづくり事業を紹介します。

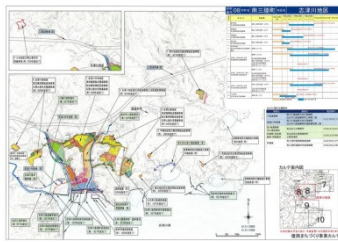
- 宮城県震災復興計画
- 宮城県社会資本再生・復興計画

復旧期  
H23～H25  
3年間

再生期  
H26～H29  
4年間

発展期  
H30～H32  
3年間

宮城県の復興



復興まちづくり事業カルテ(志津川地区)



土木部長から南三陸町長へ認可書の交付



名取市下増田地区 鉄入れの様子



塩竈市津波防災拠点イメージパース



復興まちづくり勉強会の開催状況

10月

## ● 10月 7日 「復興まちづくり事業カルテ」を追加・更新(34 地区)

復興まちづくり事業の本格化に合わせ、各事業の調整を図り、被災者の方々が復旧・復興事業の進ちょくを把握できるよう作成している「復興まちづくり事業カルテ」について、沿岸市町の全ての面整備事業を網羅するよう対象地区を拡大するとともに、内容の更新・充実を図りました。

## ● 10月 9日 建設発生土の利用で協定を締結

七ヶ浜町と塩竈市は、東日本大震災の復興事業で発生する土砂の利用に関する協定を結びました。七ヶ浜町の造成工事の残土を塩竈市の宅地造成に活用します。自治体間の協定は、県内で初めてとなります。

## ● 10月11日 第7回復興交付金事業計画書を提出

沿岸部15市町、内陸部4市町の19市町と県から復興交付金事業計画書が提出され、申請額は、基幹事業282事業の約1,344億円と効果促進事業66事業分の約70億円で、総額は約1,414億円となりました。

## ● 10月16日 南三陸町志津川地区被災市街地復興土地区画整理事業が認可

地震と津波により被災した志津川市街地において、国道・県道・河川・漁港等と一体となった都市基盤の再整備を行い、安全で魅力的な商業・業務機能の再生を目指します。

11月

## ● 10月28日 名取市下増田地区防災集団移転促進事業に着工

防災集団移転促進事業の移転先である下増田地区において、造成工事の安全祈願祭と起工式が行われました。仙台空港アクセス線美田園駅に近接し、都市的機能が整った利便性の高い団地が整備されます。

## ● 11月 8日 塩竈市港町地区一団地の津波防災拠点市街地形成施設が事業認可

港地区は、観光客等が多く訪れる地域であるため、マリゲート塩釜と津波復興拠点施設を一体的に整備し、観光客等を緊急的に避難させる津波避難デッキや防災センター、備蓄倉庫などを設置し、防災対策の拠点を形成します。

## ● 11月19日 復興まちづくり事業勉強会の開催

各市町の復興まちづくりの担当者を対象に、国土交通省、復興庁などから講師を招き、さらなる事業推進のための施策説明や各市町の復興への取り組み事例の紹介、事業推進上の課題解決に向けた意見交換などを行いました。

## ● 11月22日 名取市閑上地区被災市街地復興土地区画整理事業が認可

津波により地区内の大部分が流出する壊滅的な被害を受けた閑上地区では、公共公益施設の整備改善を行い、宅地の利用増進を図り、安全で災害に強い市街地を整備することを目的に土地区画整理事業が実施されます。

## ● 11月29日 第7回復興交付金交付可能額が通知

復興交付金の宮城県内への配分額(沿岸市町)は、約1,237億円(国費ベース)であり、災害公営住宅の平成27年度分までの事業費の前倒し分や震災遺構の保存に係る費用などが配分され、申請額に対する交付率は、112%となりました。



出前講座(石巻工業高校)

12月

● 12月 5日 “出前講座”「宮城県の復興まちづくりの計画と現状」を開講  
次世代の社会資本整備を担う、土木技術を学ぶ高校生、大学生に復興まちづくりの計画と現状を伝え、関心を持ってもらうとともに、今後の進路の参考としてもらうことを目的として、出前講座を開催しました。東北学院大学工学部から始め、宮城県石巻工業高等学校(11日)、日本大学理工学部(16日)の3校で実施しました。



契約書への署名の様子

● 12月21日 岩沼市防災集団移転促進事業「玉浦西地区第一期引渡し式」の開催

玉浦西地区の防災集団移転促進事業については、平成24年5月22日に全国で最初に大臣同意を得て、同年8月5日に県内で最初に工事着手し、平成25年12月21日に賃貸、分譲する宅地の契約を結ぶこととなったことから、現地において「引渡し式」が開催されました。

● 12月21日 南三陸町防災集団移転促進事業「戸倉地区藤浜団地」が竣工

南三陸町初となる防災集団移転促進事業による造成工事の竣工式が執り行われました。戸倉地区藤浜団地は、高台移転とする防災集団移転団地としては県内で第1号となりました。今年度末に土地が引渡しされ、建築工事が開始されます。



造成工事が完了した藤浜団地

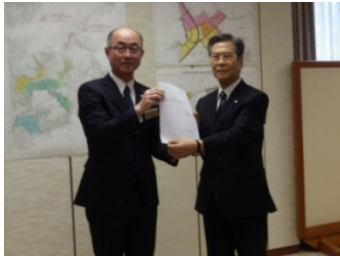
● 12月25日 七ヶ浜町被災市街地復興土地区画整理事業(4地区)が認可

七ヶ浜町で計画している被災市街地復興土地区画整理事業全4地区の事業認可書の交付式が県庁で行われました。菅蒲田浜、花淵浜、代ヶ崎浜A、代ヶ崎浜Bの4つの地区は、主に現地再建希望者のため、地盤の嵩上げを行い、公共施設の整備改善を図り、新たな居住拠点を形成します。

1月

● 1月18日 岩沼市多重防御嵩上げ道路整備事業が着工

津波対策としての多重防御計画の嵩上げ道路整備事業の起工式が岩沼市押分地区で行われました。「千年希望の丘」構想に加え、海岸防潮堤、河川堤防による「安全・安心なまちづくり」を目指します。嵩上げ道路の本格着工は、県内で初めてであり、平成27年度の完成を予定しています。



認可書を手にする土木部長と七ヶ浜町長

● 1月24日 東松島市柳の目北地区災害公営住宅整備事業が着工

東松島市が農地を転用して85戸の災害公営住宅を建築する事業の起工式が現地で行われました。地区内には、集会場、公園なども整備され、隣接する石巻市新蛇田南地区には、JR仙石線の新駅の設置が予定されています。

● 1月28日 第8回復興交付金事業計画書を提出

沿岸部15市町、内陸部2市町の17市町と県から復興交付金事業計画書が提出され、申請額は、基幹事業310事業(災害公営住宅、防災集団移転、下水道、道路事業など)の約964億円と、効果促進事業40事業の約53億円で、総額は、約1,017億円となりました。

● 1月30日 亘理町防災集団移転促進事業「上塚団地」が完成

亘理町吉田地区で造成を進めていた上塚団地が完成し、町内初となる宅地引渡しの契約締結式が町役場で行われました。JR常磐線浜吉田駅の西側の農地を嵩上げ整備し、確定測量などの手続きが完了したことから締結式に至りました。



宅地契約式が行われた上塚団地

2月

● 2月 1日 塩竈市伊保石地区災害公営住宅の入居開始

塩竈市が都市再生機構(UR)に建設を要請していた災害公営住宅が完成し、震災で自宅を失った被害者の入居が始まりました。URが建設した災害公営住宅への入居は県内初であり、入居を迎えるに当たり、塩竈市とUR主催の入居記念式典が開催されました。

● 3月 7日 第8回復興交付金交付可能額が通知

復興交付金の宮城県内への配分額(沿岸市町)は、約1,447億円(国費ベース)であり、災害公営住宅、防災集団移転、区画整理事業への配分のほか、災害危険区域の産業用地造成に係る計画策定費など、申請額に対する交付率は、143%となりました。

3月

● 3月11日 東日本大震災「みやぎ鎮魂の日」

宮城県では、東日本大震災で亡くなられた方々に追悼の意を表し、震災の記憶を風化させることなく後世に語り継いでいくため、「みやぎ鎮魂の日」を定める条例を制定(平成25年3月)し、3月11日を「みやぎ鎮魂の日」と決めました。



入居が始まった伊保石地区災害公営住宅

● 3月25日 JR女川駅建設工事安全祈願祭の開催

● 3月28日 気仙沼市防災集団移転促進事業造成工事「登米沢地区団地」竣工式の開催

## 市町からのたより

### 1. 東松島市から ～住宅地造成の早期完成を目指して～

東松島市は、浸水域が市街地の約65%に達し、11,000棟を超える家が全半壊、1,109人の尊い人命が失われました。

震災から3年が経過した今、高台移転を進める防災集団移転促進事業の宅地造成工事完成の更なるスピードアップが求められています。

現在、自分が携わっている防集事業7団地（土地区画整理2か所、開発行為5か所）のうち、平成26年2月17日の区画整理地区の一部を皮切りに、宅地引き渡しが始まりました。また、同年6月10日には、開発5団地でも借地契約が結ばれる運びとなっています。・・・が、各地区で開催した『現場見学会』では、実際に造成工事が進んでいる状況を見て、『今度の正月は自分の家で過ごせるなあ』と言う期待感と、『もっと早くできなかったのか!』との不満感が入り混じったコメントを頂きました。未だに仮設住宅で不自由な生活を強いられている方々がいることや、全ての造成地完成まではもう少し時間が掛かることを思うと、遣る瀬無い気持ちで一杯になりますが、復興に向けてもうひと踏ん張り努力していきます。



室浜地区(宮戸)現場説明会の様子

東松島市 復興政策部 復興都市計画課 森 祐樹（北海道派遣職員）

### 2. 南三陸町から ～未来に残すまちづくりのために～ 文化財の視点から

南三陸町は、魚竜化石で世界的に有名な町です。世界最古級の魚竜として知られるウタツギョリュウの他、クダノハマギョリュウ、ホソウラギョリュウといった恐竜の先祖にあたる爬虫類の化石を筆頭に、2億年以上前の様々な生物化石が見つかっています。産出場所は海岸近辺が多く震災による地盤沈下や津波による施設の流失で大きな被害を受けています。

生活に直接関係のない文化遺産の復旧も復興後の人々の心の支えとして大切な問題です。この町の百年先の未来を見つめ、大切な歴史資産を守り伝えていくことも私たちの重要な使命と考えています。



復旧が進む南三陸町歌津館崎の魚竜化石の産出地

南三陸町 教育委員会 生涯学習課 志村 有司（東京都世田谷区派遣職員）

## 県復興まちづくり推進室の取組み

### ～みやぎの復興まちづくりマップ(壁新聞)の掲示について～



復興まちづくり推進室では、東日本大震災から3年目を迎える3月11日に向け、沿岸の15市町の復興状況を写真やイメージパースなどで分かりやすく1枚にまとめた「みやぎの復興まちづくりマップ(壁新聞)」を作成し、被災者の方々などが復旧・復興事業の進捗よくを実感できるよう情報発信しています。

これまで掲示してきた「復興まちづくり事業カルテ」などとともに、「三陸縦貫自動車道 春日PA」、「石巻まちなか復興マルシェ」から掲示を始めました。

今後、更新や掲示箇所を拡大していき、情報発信に努めていきます。

【「みやぎの復興まちづくりマップ」は、宮城県のホームページでも御覧いただけます。】



石巻まちなか復興マルシェ

○問い合わせ先 宮城県土木部復興まちづくり推進室  
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8-1  
TEL.022(211)3207 FAX.022(211)3295  
e-mail [fukumachi@pref.miyagi.jp](mailto:fukumachi@pref.miyagi.jp)  
HP <http://www.pref.miyagi.jp/fukumachi/>

復興加速



復興実感

がんばるっちゃ!  
宮城県土木部